

## 1. 点検・評価の基本的な考え方

<b>趣旨</b>	○目的 効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たす ○根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条 ○取扱 報告書を議会に提出・市民公表	<b>対象</b>	○令和元年度に実施した取組みを対象 ○教育委員会の取組みに加え、関係部課等の取組みも点検・評価
<b>方法</b>	○帯広市教育基本計画の「個別目標」「基本方向」ごとに実施 ○取組みの成果と、課題・今後の方向性の2つの観点から点検・評価	<b>学識経験者の知見の活用</b>	○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けて活用をはかる

## 2. 点検・評価の結果

### 次代を担う人づくり

#### 知識・技能の習得

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	○標準学力検査等で課題を明確にし、授業改善資料「帯広の子どもの学力」を活用した研修の実施	○学習指導、ICTを活用した授業改善、教職員への学力向上研修講座の開催のほか、学習習慣や生活習慣の改善をすすめる
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	○コミュニティ講座や高齢者学級において、講座等参加者数は目標値を達成	○講座内容の見直しや新規講座の実施、広範な情報発信を行い、新規受講者の確保に取り組む
職業に関する教育・学習活動の推進	○小中学校において、キャリア教育を充実 ○帯広南商業高校において、進路指導等により、就職率は目標値を達成	○小中学校において、キャリア教育への指導・助言 ○帯広南商業高校において、資格取得への意識付けをはかる
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	○プログラミング教材の活用や安全なSNSの活用についての知識習得を推進	○SNSの正しい使い方やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む

#### <成果指標の状況>

指標名	H19基準値	R1実績値	
		R1実績値	R1目標値
標準学力検査の目標基準到達観点数（観点）	26	42	42
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数（人）	22,590	36,062	23,000
帯広南商業高等学校の就職率（%）	100.0	100.0	100.0
帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率（%）	46.7	65.3	75.0



バス学習の様子



3年生の先輩訪問の様子

#### 健やかな体づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	○各種大会やスポーツ教室の開催のほか、指定管理者と連携し、講習会などの内容を充実 ○フッ化物流口の取組みにおいて、新規実施に向けた保護者説明会の実施など、児童の歯・口腔の健康づくりを推進	○より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに努める ○フッ化物流口について、児童や保護者、学校への周知とともに、効率的な実施方法や体制を検討する
食育の推進と学校給食の充実	○食に関する教育指導計画、食育推進部会による啓発資料の作成のほか、食育講演会や食育出前授業、小中学校で給食指導を行い、食育を推進 ○円滑な食材調達のため、給食費を改定	○食指導専門家と栄養教諭の業務形態の工夫と改善に努め、食に関する指導の充実をはかる ○地場産野菜の導入に向けて、収穫期に一定量の生産物の確保と調理の使用量・品目拡大に取り組む

#### <成果指標の状況>

指標名	H19基準値	R1実績値	
		R1実績値	R1目標値
スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数（人）	35,677	108,528	87,000
総合型地域スポーツクラブの設置数（か所）	2	6	8
学校給食における地場産野菜の導入率（%）	55.7	61.8	70.0



水泳教室の様子



食育指導の様子

#### 人間を尊重し自然と共生する人づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	○庁内外と連携した取り組みにより、ユニバーサルデザインに関する講座等への参加者数は目標値を達成 ○セミナーや講座の開催、情報誌の発行など、男女平等を啓発 ○援助や配慮を知らせるヘルプマークを配布し、障害者理解を促進	○様々な機会を通じて、ユニバーサルデザインについての市民の意識向上に取り組む ○セミナーや講座の開催など、男女平等意識の浸透・定着をはかる ○差別に関する相談など、障害者への理解促進に取り組む
グローバル化に対応した教育・学習活動の推進	○外国語指導講師を全小中学校に派遣し、外国語活動・指導を充実 ○帯広南商業高校において、専任の英語指導助手の配置や姉妹都市への生徒派遣など、国際理解を深め	○新学習指導要領対応した指導のあり方を考え、外国語指導講師の効果的な派遣体制や指導の充実をすすめる ○地域住民と外国人との意識交流を喚起し、国際交流に積極的な市民の視野を広げる
環境に関する教育・学習活動の推進	○環境教育プログラム集の発行・配布。世界の環境問題をテーマとした出前講座の実施	○出前教室の充実をはかるとともに、環境に配慮した行動や取り組みが進むよう情報を発信する

#### <成果指標の状況>

指標名	H19基準値	R1実績値	
		R1実績値	R1目標値
UDに関する講座等への参加者数（人）	234 (H17-19平均)	412	370
国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数（人）	8,465 (H17-19平均)	8,939	9,350
環境にやさしい活動実践校数（校）	10	41	41



出前環境教室の様子



マディソン市派遣研修の様子

#### 豊かな心の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの社会性の育成	○小中学校、帯広南商業高校において、児童生徒の悩み等へのきめ細かい相談体制に努めたほか、各種教員研修の開催やいじめ・非行防止への意識啓発 ○子どもの居場所づくりにおいて、活動内容の効果的な周知に努め、学校と地域の連携を強化し、魅力ある企画講座を実施する	○不登校復帰に向け、個々や保護者への相談体制の充実、教育相談員の配置日数の調整等をすすめる ○子どもの居場所づくりにおいて、活動内容の効果的な周知に努め、学校と地域の連携を強化し、魅力ある企画講座を実施する
豊かな情操の育成と生きがいづくり	○学校図書ボランティア等が行う、読み聞かせや朝読書などにより、小中学校ともに貸出冊数は目標値を達成 ○市民主体の芸術・文化活動の支援や鑑賞機会の提供など、身近に芸術・文化に親しめる環境づくりを実施	○魅力ある蔵書整備、運営の担い手の確保や専門性の向上をはかり、活用しやすい学校図書づくりを進める ○市民協働による鑑賞機会の提供に向けた仕組みづくりを検討し、芸術・文化に関する情報発信に努める

#### <成果指標の状況>

指標名	H19基準値	R1実績値	
		R1実績値	R1目標値
不登校生徒の復帰率（%）	30.8	26.8	65.0
子どもの居場所づくり参加児童数（人）	7,575	21,223	31,100
小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数（冊）	9.1	15.2	11.8
中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数（冊）	1.6	3.2	2.4
鑑賞事業の入場者数（人）	34,098	27,485	38,000



放課後子ども広場の様子（書初め教室）



帯広市民オペラ公演「カルメン」

ともに学びきずなを育む地域づくり

ふるさとの理解の促進

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どものふるさと教育の推進	○郷土・自然体験学習などを実施し、ふるさとへの理解を推進 ○百年記念館で出前講座を行い、ふるさとの自然を学ぶ機会を提供	○帯広の自然や産業などを系統的に学ぶ「おびひろ市民学」をすすめる ○百年記念館で教材の更新や新たなプログラムづくりに取り組む
地域に関する学習活動の推進	○地域に根ざした親しみやすいコミュニティ講座等を開催し、参加者数は目標値を達成 ○百年記念館で「十勝開拓日記」を開催 ○アイヌ民族文化情報センター（リウカ）で資料展示、出前講座や自然観察会の開催など、アイヌ文化に触れる機会を充実 ○アイヌ文化の保存・継承、理解を促進 ○図書館で地域資料講演会を開催し、郷土をより身近に感じられる機会を提供	○地域の文化や歴史を学び、理解を深める機会を提供するほか、効果的な周知方法を検討する ○リウカの活用や出前講座の周知を積極的に行うほか、アイヌの古式舞踏の保存・伝承団体への支援、イオル再生事業に取り組む

きずなづくり・まちづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	○語り手育成講習会、ボランティア養成講座のほか、各種体験活動事業を実施 ○図書館、百年記念館や動物園において、ボランティア活動が定着 ○青少年のリーダーを養成し、地域の青少年活動を活性化	○社会教育施設において、活動できる人員の増に努め、知識・技術の専門性を活かした活動の場を提供する ○各種青少年体験活動において、事業の積極的な周知に努める
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	○おびひろ市民芸術祭において、多くのジャンルの団体が参加できるよう工夫し、参加団体数は目標値を達成 ○国際大会や全国・全道大会開催の増加などにより集客数が増え、観客数は目標値を達成	○文化団体等が意見・情報交換する機会の提供や情報収集手法を検討する ○帯広市スポーツ合宿・大会誘致推進実行委員会などと連携し、北海道をはじめ首都圏への誘致活動の強化をはかる

基本目標を実現するための基盤づくり

学校・家庭・地域の連携

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
開かれた学校づくり	○小中学校、帯広南商業高校で学校運営に関して意見を求めるなど学校評議員制度を活用 ○コミュニティ・スクールを導入し、研修会や説明会で制度を周知	○地域とともに取り組みを深化させ、コミュニティ・スクールの趣旨等を周知しながら、導入校を全校に拡大させる
家庭教育への支援	○妊婦向け講座の増により、子育て支援センター等利用回数は目標値を達成 ○家庭教育学級において、成長に役立つ学習を行い、教育力を向上 ○百年記念館、動物園で親子がらあう学習機会を提供	○すこやかネットを通じて、これまでメールでは提供できなかった動画の視聴や子育て施設マップなど、子育てに役立つ情報を提供する
家庭や地域による教育支援の推進	○子どもを地域ぐるみで応援する取組みを進め、全小中学校で学校支援ボランティアが活動	○地域の人材発掘や活動内容の充実のため、資質向上に資する研修や広報活動の検討をすすめる

＜成果指標の状況＞

指標名	H19基準値	R1実績値 R1目標値
地域について学ぶ講座等への参加者数(人)	4,053	6,463 4,000



くりりんセンター見学の様子



「十勝開拓日記」展示の様子

＜成果指標の状況＞

指標名	H19基準値	R1実績値 R1目標値
青少年リーダー養成事業参加者数(人)	208	210 260
学習成果の活用事例数(件)	1 (H20)	8 10
発表・活動の場への参加団体数(団体)	56	85 65
各種スポーツ大会の観客数(万人)	16.0	19.6 20.8
スポーツ合宿団体数(団体)	150 (H20)	139 200



「マッチ箱展」展示の様子



日本クラブユースサッカー選手権大会試合中の様子

＜成果指標の状況＞

指標名	H19基準値	R1実績値 R1目標値
子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数(回)	10.2	17.5 12.0
子育てメール通信の利用率(%)	23.8 (H20)	19.5 60.0
学校支援ボランティアを活用した学校数(校)	2	40 40



子育て講座の様子



学校運営協議会の様子

教育を支える人材の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
教員の人間力の向上	○研修内容の充実をはかり、教職員研修受講回数は目標値を達成 ○学校訪問において、指導力・指導力を向上 ○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づく取り組みを実施	○積極的な参加の呼びかけのほか、ICTの活用技能の向上や研修により、教員の資質・能力などの向上をはかる ○勤務状況の改善に向けた取り組みを推進する
地域の人材の発掘・育成・活用	○募集チラシの配置箇所拡大などを行った結果、地域の指導者の登録者数は目標値を達成 ○人材育成、競技力向上やスケート人口拡大など、スピードスケートの普及振興を推進	○ホームページに掲載していない文化団体への積極的な周知をはかり、団体数の確保に取り組み

教育環境の充実

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
学校教育の環境整備	○「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づく改修や実施設計を実施 ○通学時の携行品の重さや量に対応するため、スクールロッカーを整備	○計画的に修繕を行い、教育環境の施設の長寿命化及び機能・性能の改善に努める
社会教育の環境整備	○移動図書館バスについて町内会で周知し、サービスの利用を促進 ○利便性の向上と安全性の確保のため、社会教育施設を整備	○図書館において、年齢に応じたブックリストの配布など、利用者サービスの向上に努める ○社会教育施設の機能を維持できるように、施設状況を把握し、設備等の修繕と更新を行い、利用者の安全性の確保をはかる
保育・体験活動の環境整備	○老朽化した施設の修繕や保育需要に応じた改修を実施 ○児童会館において、催事やイベントの実施、プラネタリウムでの新番組の導入などにより、入館者数は目標値を達成	○老朽化した保育所や児童保育センターの改修、低年齢児の受入枠の確保に向けた取り組みなど、質の高いサービス提供ができる体制づくりをすすめる

教育機会の確保

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
就学・進学の支援	○農村地域の遠距離通学等の移動手段としてスクールバスを運行 ○国の単価改定にあわせて学用品費支給額を改定 ○私立高等学校生徒授業料補助や奨学金により、保護者負担を軽減	○スクールバスの安定的な運行に向けて取り組む ○国、道や他市町村の動向も踏まえながら、就学援助等の制度を適切に運営する ○高校の関口を維持・確保するため、情報収集や要望活動を行う
健やかな発達の支援	○学校や地域の状況、保護者や専門家の意見等を総合的に勘案し、特別支援学級の設置数は目標値を達成 ○特別支援教育補助員の増員、助手や生活介助員の継続した配置	○特別支援教育補助員や助手、生活介助員を各学校の実情を踏まえて配置するほか、合理的配慮に基づいた環境の整備に努める

よりよい教育のためのしくみづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
魅力ある学校づくりの推進	○地域と密着した活動や人材の活用など、小中学校で特色ある教育活動を推進 ○全エリアにおいて推進委員会を開催 ○「帯広市小中一貫教育推進ガイドブック」に基づき小中一貫教育を推進 ○「大空地区義務教育学校準備協議会」を設置	○人材発掘と確保をはかり、地域と連携した教育活動の充実に努める ○「帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画」に基づき、準備協議会において開校準備作業をすすめる
学校教育のしくみの工夫改善	○社会教育施設の充実に努め総利用者数は目標値を達成 ○動物園の魅力向上のための「おびひろ動物園の魅力アップに向けて(方針)」を決定 ○子どもの自主的な読書活動の推進に取り組むための方向性を示す「第四期帯広市子どもの読書活動推進計画」を策定	○文化・スポーツ施設を利用者が安心して利用できるような努める
社会教育施設の利用の促進	○教育懇談会を開催しホームページに掲載 ○教育・文化・スポーツの振興による活力ある地域社会の実現に向け、「帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)」を策定	○幅広い市民や教育関係団体が参加できるように、会場や開催方法の工夫と改善をすすめる

＜成果指標の状況＞

指標名	H19基準値	R1実績値 R1目標値
教職員1人当たりの研修受講回数(回)	2.2	3.4 3.0
地域の指導者の登録者数(人)	138	192 190
ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数(団体)	260	264 272



「ONE-UP研修会」の様子



＜成果指標の状況＞

指標名	H19基準値	R1実績値 R1目標値
小・中学校校舎の耐震化率(%)	46.5	100.0 100.0
市民1人当たりの図書等の貸出点数(点)	5.4	5.0 7.0
児童会館の入館者数(万人)	10.9 (H17-19平均)	13.3 12.0



帯広市総合体育館(よつ葉アリーナ十勝)



市内6中学校に整備したスクールロッカー

＜成果指標の状況＞

指標名	H19基準値	R1実績値 R1目標値
特別支援学級の設置数(学級)	38	84 59



特別支援学級の授業の様子

＜成果指標の状況＞

指標名	H19基準値	R1実績値 R1目標値
社会教育施設の総利用者数(万人)	95.2	105.3 95.2
文化施設の利用者数(万人)	54.8	53.1 60.0
スポーツ施設の利用者数(万人)	114.8	119.3 128.6



帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の策定



第四期帯広市子どもの読書活動推進計画の策定